

as ～ as の導入『どっちが？—引き分け！』授業案（as ～ as と not as ～ as を、クラスの引き分けさがして使う）

比較級・最上級の次の as ～ as で出る誤りは3つにまとまります。as と as のあいだの -er (as taller as)、as と than の混ぜ (as tall than)、not as ～ as の向きの取りちがえ (Germany is not as large as Japan. を「ドイツのほうが大きい」と読む)。どれも「同じくらい」と「～ほど…ない」が、比べる前の形に乗っていることが見えていない誤りです。この授業案は、比較級の問いに「引き分け」の札を足したクイズで as ～ as を聞かせてから、as と as のあいだの形と not の向きを生徒の言葉で出させ、クラスの好み調べの数で使います。

この教材で解決できる悩み

- as taller as のように、as と as のあいだに -er を入れる
- as tall than のように、as と than を混ぜる
- Germany is not as large as Japan. を「ドイツのほうが大きい」と読む

教材の概要

項目	内容
対象	中学2年 (SUNSHINE 2 PROGRAM 6／NEW HORIZON 2 Unit 6／Here We Go! 2 Unit 7／BLUE SKY 2 Unit 7 ほか)
文法項目	as ～ as・not as ～ as・about as ～ as
形式	授業案A4・3ページ
所要時間	50分×1コマ
準備物	印刷のみ（投影版はプロジェクタ）・学校の創立年（3問目で聞く）

授業の流れ（50分）

導入：どっちが？—引き分け！（15分）

黒板（投影版なら画面のいちばん下）に札を3つ並べます—A・B・引き分け（Draw!）。比較級の問い（Which is heavier?）を出し、ヒントを1文ずつ聞かせて、3文目のあとで札に手を挙げさせます。

1. Feathers are not as heavy as iron.
2. Iron is not as soft as feathers.
3. This box has 1 kg of iron. That box has 1 kg of feathers.

1文目で鉄に手が挙がり、3文目の 1kg と 1kg で引き分けに動きます（Draw! 1 kg of feathers is as heavy as 1 kg of iron.）。以降は空（The moon looks as big as the sun. = 太陽は月の約400倍大きく、約400倍遠い）・タワー（333mと330m=about as tall as）・国の広さ（Germany is not as large as Japan.）・先生のすき（I like cats as much as dogs.）と進みます。1・2文目のヒントは5問とも not as ～ as で、4問目だけは答えが引き分けではありません。

6問目は「クラスで夏と同じくらい人気の季節」で、答えを言いません。札を1つ選ばせて I think spring is as popular as summer. と予想を書かせ、展開に持ち越します。

正解のたびに Is the moon as bright as the sun? のように1つ聞き、Yes, it is./No, it isn't. で答えさせます。板書は2列＝左に答えの文、右に生徒の答えです。タワーの問いで Tokyo Tower is taller! と返す生徒も正解にし、about を1語足します。

気づき：as と as のあいだ・not の向き（8分）

左の列から2文を並べます（I kg of feathers is as heavy as I kg of iron./The moon looks as big as the sun.）。「as と as のあいだの語は？」—heavy・big。比較級の -er が付いていないことに気づかせ、as heavier as を板書して「どこがおかしい?」。同じくらいの文に「より」は入らない（as tall than も×）、が出るまで待ちます。

次に Germany is not as large as Japan. を指さし、「大きいのはどっち?」。not as ～ as は「～ほど…ない」＝後ろの日本のほうが大きい。横に Japan is larger than Germany. と書き、2文が同じことを言っていると確かめます（入試の書きかえの形）。

展開：クラスの引き分けさがし（17分）

- 1. 数を出す（3分）：前の時間にクラスいちばん調べをしたクラスは、班の結果（季節・教科・スポーツ…）を黒板に書き出します。していなければ Which season do you like the best? で手を挙げて数え、4つの数を棒グラフで書きます。
- 2. ほんと？うそ？（8分）：ペアで、A が黒板の数について as ～ as か not as ～ as の文を1つ言い、B が数を見て True! か False! で返します。False! のときは正しい文に言い直します（False! Spring is not as popular as summer.）。30秒で交代し、相手を替えて2回。差が1なら about as popular as でよいことにします。
- 3. 班で3文（6分）：班で本当の文を3つ書きます（as ～ as・not as ～ as・about as ～ as を1つずつ）。6問目の答え合わせもここで。

言い方	例文	数
同じ	Spring is as popular as fall.	7人と7人
だいたい同じ	Winter is about as popular as spring.	6人と7人
～ほどではない	Winter is not as popular as summer.	6人と12人

机間で not の向きが逆の文（Summer is not as popular as winter.）が聞こえても止めず、Summer has twelve. Winter has six. と数だけ返して言い直しを待ちます。多い誤りは出口の前に1回だけ全体で。

出口：クラスの引き分け報告3文（6分）

1人3文で書きます（In our class, spring is as popular as fall. Winter is not as popular as summer. I like winter as much as summer.）。2人に読み上げてもらい、6問目の予想と比べます。見るのは3つ—as と as のあいだの -er（as more popular as）、as と than の混ぜ（as popular than）、not の向き（数と合っているか）。

まとめ（4分）

比較の3つ（-er than/the -est/as ~ as）を板書に並べ、「2つを比べる」「いちばん」「同じくらい」と1語ずつ添えて終わります。次の時間は、3つを使い分けてグラフを説明します。

5問目（先生のすき）は先生の好みに差し替えます。1・2文目を「どちらも1つ負ける」文にし（Summer is not as cool as winter./Winter is not as bright as summer.）、答えは I like summer as much as winter.

クイズと調べのお題に、身長・体重など体の比較は入れません（物・数字・好みに限る）。

定着・受験への接続

as ~ as は、入試では比較級との書きかえ（Germany is not as large as Japan. = Japan is larger than Germany.）と、not の向きを問う読み取りで出ます。出口の3文は、グラフや表を見て説明する条件英作文の型そのものです。

比較級の導入は『どっちが〇〇？』実測クイズ授業案、最上級の導入は『4つの札でいちばん』です。練習は比較の定着ドリル、使う練習は動物データバトル、確認は比較の10分小テスト、活用はクラス対抗なんでもランキング、テストは中2・2学期の定期テスト（標準版）へ。Premium では比較の使い分けワークシートと文法を読む「駅前の3つのカフェ」へ。

投影版パワーポイント（Premium）

導入15分のクイズをそのまま映せるパワーポイントです（下に A・B・引き分けの札・ヒントが1文ずつ増える・6問目は予想で止まる）。Premiumのファイルです。

